

サマリー情報



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日

上場会社名 若築建設株式会社

上場取引所 東

コード番号 1888 URL <https://www.wakachiku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 烏田 克彦

問合せ先責任者(役職名) 財務部長 (氏名) 平田 靖祐

TEL 03-3492-0273

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	75,060	24.2	4,080	41.9	3,918	33.9	2,601	21.7
2025年3月期第3四半期	60,444	△15.7	2,875	△42.2	2,926	△47.2	2,137	△41.1

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 3,252百万円 (38.5%) 2025年3月期第3四半期 2,348百万円 (△35.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	204.59	—
2025年3月期第3四半期	167.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	109,588	51,534	45.6	3,925.58
2025年3月期	91,890	49,858	52.6	3,802.84

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 49,948百万円 2025年3月期 48,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	126.00	126.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	131.00	131.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 3月期の連結業績予想(2025年 4月 1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,600	16.4	5,750	10.2	5,500	5.2	3,700	0.3	291.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	12,964,993 株	2025年3月期	12,964,993 株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	241,101 株	2025年3月期	258,142 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	12,715,925 株	2025年3月期3Q	12,734,220 株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、役員向け株式交付信託に係る信託口が保有する当社株式が含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる状況及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(重要な後発事象)	8
3. 補足情報	9
個別受注・売上・繰越実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、賃金上昇を背景とした個人消費の持ち直しや旺盛なインバウンド需要を受け、企業の設備投資は堅調に推移しました。一方、国内の政治情勢や米国の経済・通商政策に起因する不確実性の高まり、金利動向、物価上昇の影響には留意が必要です。加えて、地政学的リスク、世界経済の減速懸念、気候変動等の景気下押し要因についても、引き続き注視すべき状況が続いています。

建設業界におきましては、公共投資、民間設備投資とも堅調に推移しておりますが、建設資材価格の高騰や労働人口の減少に伴う人手不足など、業界を取り巻く課題への継続的な取り組みが求められています。

当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は前年同期比24.2%増の750億円となりました。損益面では、一般管理費はD X投資・人的投資の拡大により前年同期比4.5%増の58億円となったものの、売上高の増加と建築分野における生産性向上により、営業利益は40億円（前年同期比41.9%増）、経常利益は39億円（前年同期比33.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は26億円（前年同期比21.7%増）となりました。

なお、当社個別の受注高につきましては712億円（前年同期比1.0%の増加）、繰越高は1,216億円（前年同期比6.3%の増加）となりました。セグメントの業績は次のとおりであります。

(建設事業)

建設業界におきましては、公共投資、民間設備投資とも堅調に推移しておりますが、建設資材価格の高騰や労働人口の減少に伴う人手不足など、業界を取り巻く課題への継続的な取り組みが求められています。

当社グループはそのような状況のもとで努力を続けました結果、複数の大型工事で進捗率が上がったことにより売上高は737億円（前年同期比24.0%の増加）となりました。損益につきましては、売上高の増加に伴う完成工事総利益の増加と建築分野における生産性向上により、営業利益は55億円（前年同期比29.0%の増加）となりました。

(不動産事業)

不動産事業を取り巻く環境は、日本経済の緩やかな回復に支えられ、旺盛な不動産投資、地価の上昇・不動産価格の上昇が見られるなど、良好な市場環境にあります。当社グループはこのような状況を考慮し販売活動を行いました結果、売上高は3億円（前年同期比1.6%の減少）、営業利益は1億円（前年同期比12.7%の増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は前連結会計年度末に比べ176億円増加し、1,095億円となりました。増加の主な理由は、現金預金（前連結会計年度末から32億円の増加）、受取手形・完成工事未収入金等（前連結会計年度末から111億円の増加）、流動資産その他（前連結会計年度末から18億円の増加）及び投資有価証券（前連結会計年度末から11億円の増加）によるものです。

(負債)

負債合計は前連結会計年度末に比べ160億円増加し、580億円となりました。増加の主な理由は、支払手形・工事未払金等（前連結会計年度末から15億円の増加）、短期借入金（前連結会計年度末から26億円の増加）、未成工事受入金等（前連結会計年度末から17億円の増加）、預り金（前連結会計年度末から44億円の増加）及び長期借入金（前連結会計年度末から57億円の増加）によるものです。

(純資産)

純資産は主に親会社株主に帰属する四半期純利益及び配当金の支払により前連結会計年度末に比べ16億円増加し515億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の事業環境につきましては、国土強靱化や社会資本整備などの公共投資、民間設備投資とも堅調に推移すると想定されます。2026年3月期の当社グループの業績につきましては、工事については、進捗・生産性とも年度当初予定を達成する見込みで、経費についても、年度当初の予定通りに推移し、売上高1,006億円、経常利益55億円、親会社株主に帰属する当期純利益37億円を予定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	13,217	16,474
受取手形・完成工事未収入金等	45,839	57,032
販売用不動産	2,971	2,977
未成工事支出金等	1,232	1,650
立替金	1,241	1,435
その他	5,802	7,635
貸倒引当金	△50	△50
流動資産合計	70,253	87,156
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	5,581	5,430
機械、運搬具及び工具器具備品	4,571	4,747
船舶	3,640	3,673
土地	6,581	6,538
その他	717	793
減価償却累計額	△9,800	△10,153
有形固定資産合計	11,291	11,029
無形固定資産	512	939
投資その他の資産		
投資有価証券	6,705	7,856
繰延税金資産	947	423
退職給付に係る資産	1,601	1,641
その他	1,043	944
貸倒引当金	△466	△402
投資その他の資産合計	9,832	10,463
固定資産合計	21,636	22,432
資産合計	91,890	109,588

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	13,830	15,335
短期借入金	12,190	14,820
未払法人税等	231	573
未成工事受入金等	3,974	5,760
預り金	5,622	10,084
引当金	1,346	738
その他	633	768
流動負債合計	37,830	48,082
固定負債		
長期借入金	378	6,118
再評価に係る繰延税金負債	791	791
株式給付引当金	176	174
退職給付に係る負債	2,679	2,717
その他	176	170
固定負債合計	4,202	9,971
負債合計	42,032	58,053
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,374	11,374
資本剰余金	2,948	2,948
利益剰余金	30,194	31,178
自己株式	△518	△475
株主資本合計	43,998	45,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,120	1,833
土地再評価差額金	1,684	1,684
退職給付に係る調整累計額	1,518	1,404
その他の包括利益累計額合計	4,323	4,922
非支配株主持分	1,535	1,585
純資産合計	49,858	51,534
負債純資産合計	91,890	109,588

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高		
完成工事高	58,034	72,478
不動産事業等売上高	2,409	2,581
売上高合計	60,444	75,060
売上原価		
完成工事原価	50,212	63,171
不動産事業等売上原価	1,732	1,933
売上原価合計	51,945	65,104
売上総利益		
完成工事総利益	7,821	9,307
不動産事業等総利益	677	648
売上総利益合計	8,498	9,955
販売費及び一般管理費	5,622	5,875
営業利益	2,875	4,080
営業外収益		
受取利息	48	28
受取配当金	95	166
為替差益	17	—
その他	51	28
営業外収益合計	212	223
営業外費用		
支払利息	100	153
シンジケートローン手数料	50	166
その他	11	64
営業外費用合計	162	385
経常利益	2,926	3,918
特別利益		
固定資産売却益	4	62
特別利益合計	4	62
特別損失		
固定資産除却損	0	21
減損損失	1	—
ゴルフ会員権評価損	1	—
特別損失合計	2	21
税金等調整前四半期純利益	2,927	3,958
法人税、住民税及び事業税	498	1,058
法人税等調整額	258	247
法人税等合計	756	1,305
四半期純利益	2,171	2,653
非支配株主に帰属する四半期純利益	33	51
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,137	2,601

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,171	2,653
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	285	713
退職給付に係る調整額	△108	△114
その他の包括利益合計	177	599
四半期包括利益	2,348	3,252
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,315	3,201
非支配株主に係る四半期包括利益	33	51

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	621百万円	609百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設事業	不動産事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	59,470	380	59,851	592	—	60,444
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	34	△34	—
計	59,470	380	59,851	626	△34	60,444
セグメント利益	4,266	175	4,441	34	△1,600	2,875

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主な内容は船舶監理業務であります。

2. セグメント利益の調整額△1,600百万円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設事業	不動産事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	73,745	374	74,120	939	—	75,060
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	75	△75	—
計	73,745	374	74,120	1,014	△75	75,060
セグメント利益	5,503	197	5,701	66	△1,687	4,080

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主な内容は船舶監理業務であります。

2. セグメント利益の調整額△1,687百万円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、2026年2月12日開催の取締役会において、株式会社麻生（以下「麻生」といいます。）が出資するACVEホールディングス合同会社（以下「ACVEホールディングス」といいます。）による当社の普通株式（以下「当社株式」といいます。）を対象とする公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に関して、賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様が本公開買付けに応募するか否かについては当社の株主の皆様のご判断に委ねることを決議いたしました。

併せて、当社は、当該取締役会において、麻生及びACVEホールディングスとの間で資本業務提携契約を締結することを決議し、同日付で当該資本業務提携契約を締結いたしました。

なお、本公開買付け及び資本業務提携契約の締結は、当社株式の上場廃止を企図するものではなく、株式会社東京証券取引所プライム市場における当社株式の上場は、本公開買付け成立後も引き続き維持される見込みです。

詳細につきましては、2026年2月12日付、「ACVEホールディングス合同会社による当社株式に対する公開買付けに関する意見表明に関するお知らせ」及び「株式会社麻生及びACVEホールディングス合同会社との資本業務提携契約の締結に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 補足情報

個別受注・売上・繰越実績

①受 注 高

(単位：百万円)

期別 区分	前期		当期		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
		%		%		%
海上土木	23,487	33.3	30,628	43.0	7,141	30.4
陸上土木	25,320	35.9	17,712	24.9	△7,608	△30.0
建築	21,396	30.4	22,821	32.0	1,425	6.7
建設事業 計	70,203	99.6	71,162	99.9	958	1.4
開発事業等	312	0.4	81	0.1	△231	△74.0
合計	70,516	100.0	71,243	100.0	727	1.0

②売 上 高

(単位：百万円)

期別 区分	前期		当期		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
		%		%		%
海上土木	19,860	33.8	20,674	28.3	813	4.1
陸上土木	20,451	34.8	25,360	34.8	4,908	24.0
建築	17,605	30.0	25,763	35.3	8,158	46.3
完成工事高 計	57,918	98.6	71,798	98.4	13,879	24.0
不動産売上高	263	0.4	248	0.3	△14	△5.6
開発事業等売上高	559	1.0	898	1.3	338	60.5
合計	58,740	100.0	72,944	100.0	14,203	24.2

③繰 越 高

(単位：百万円)

期別 区分	前期		当期		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
		%		%		%
海上土木	18,436	16.1	25,849	21.2	7,413	40.2
陸上土木	45,820	40.0	44,007	36.2	△1,813	△4.0
建築	49,369	43.2	51,105	42.0	1,736	3.5
建設事業 計	113,626	99.3	120,962	99.4	7,335	6.5
開発事業等	771	0.7	674	0.6	△97	△12.6
合計	114,398	100.0	121,637	100.0	7,238	6.3

前期：2024年4月～2024年12月

当期：2025年4月～2025年12月